事業所名：かぎしっぽ

支援プログラム

作成日 2025年 8月 23日

法人（事業所）理念	障がいがある子どもたちとその保護者にとって必要とされる場所とは、どんな所でしょうか？ ただ見てくれるだけではなく、社会とのつながりや児童同士のつながりが生み出される場所になれるように。私たちはそんな場所を目指して、「はなまる」をつくることにしました。 子ども達が安心して遊び、成長してほしい。「はなまる」は、そう願う保護者にとっての止まり木となるような存在を目指しています。		
支援方針	かぎしっぽでは、心理士を配置しており、必要に応じてSST・LST・学習・運動療育を実施し、個々のニーズに合わせた課題を提供しております。		
営業時間	10時0分から19時0分まで	送迎実施の有無	あり
支援内容			
本人支援	健康・生活	【自立支援】身辺自立のトレーニングを行う。ライフステージの変化に向け、できることを増やす。 食事/着脱衣/トイレ/衛生/生活リズム/物の管理/金銭管理/ 時間・スケジュール管理	
	運動・感覚	【余暇活動支援】環境調整・構造化を行うことで、日常生活や余暇を穏やかに過ごす力を身につける。好きな遊びや趣味を見つける。利用者本人のストレスや、保護者・周囲の人々の負担感を減らし、QOLの向上を目指す。 感覚遊び/サーキット運動/ブロック・組み立て遊び/人形・ごっこ遊び/知育玩具・パズル/絵画・工作/読書/アナログゲーム/友達との交流 【微細運動】 食器・文房具・道具の扱いについて、継続的な練習機会を設ける。 フォーク/スプーン/箸/ハサミ/のり/テープ/鉛筆/折り紙/ボタン留め/ファスナー/紐結び	
	認知・行動	【学習支援】得意・苦手に応じたきめ細かい支援を行う。学習方法の選択肢がひろがるように、教具・教材の充実を図る。一人ひとりの特性に応じた学習環境の提案を行う。宿題支援/ことば/かず/運筆/読み書き/計算/教科学習/環境調整 【ビジョン・トレーニング】視覚の訓練を行うことで、文字の見え方を改善し、読み書き能力の向上を図る。形と位置・方向/目と手の運動/視線の動き	
	言語コミュニケーション	【コミュニケーション支援】コミュニケーションの方法を学ぶ。言葉の学習を行う。子ども本人が周囲の人に意思表示を行うことができるように、伝達手段を見つけたり、語彙を増やしたりする。 意思表示することばを使う/自分のことを話す/相手の話を聞く	
	人間関係社会性	【ソーシャルスキル・トレーニング】対人関係の築き方を学ぶ。ストレスへの対処法を学び、気持ちの波が穏やかになるような方法を見つける。 マナー・常識の理解/状況認知/気持ちの理解(自己理解)/気持ちの理解(他者理解)/ストレスマネジメント/自分をいたわる 【イベント】 集団活動を通じて、自立して過ごす力を育てる。幼稚園、保育園、学校などでの集団活動に馴染めるよう、練習を行う。	
家族支援	家族の就労時間中の預かり支援を行う。 連絡帳・LINE・送迎時の申し送り等の手段で、支援中の様子をお伝えし、家族との情報共有に努める。 本人との接し方に関する困りごとについて、家族に対し相談援助を行う。	移行支援	本人の授業中や休み時間の様子などについての情報共有、本人・家族への相談援助、本人の進路選択についての本人・家族への情報提供、学校との連携等を行う。進学に向け、事業所に通う利用者から、学校生活について話を聞く機会を設ける。
地域支援・地域連携	幼稚園・保育園・学校との連携 相談支援事業所との連携 都島区自立支援協議会(こども部会)への参加	職員の質の向上	社内:初任者OFF-JT・OJT/人権擁護基礎研修/対人援助研修/専門職研修/運営管理責任者(リーダー)会議 社外:強度行動障害支援者養成研修(基礎・実践)/都島区こども部会研修/SST普及協会
主な行事等	ランチクッキング/おやつクッキング/買い物支援/外出支援(キッズプラザ、天王寺動物園、あべのたスカル、大阪城など)/創作活動/科学実験/映画鑑賞/ ハロウィンパーティー/クリスマスパーティー/レクリエーション		